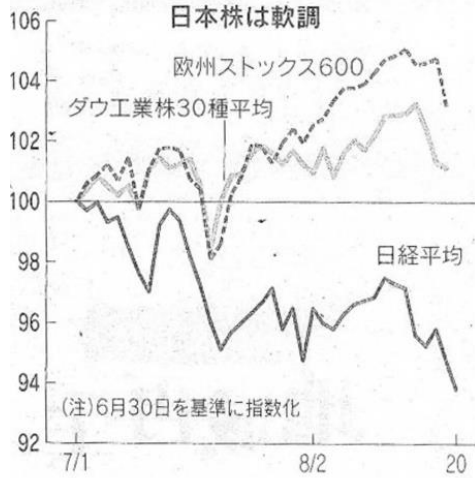


週間国際経済 2021 (28) No.278 08/21~08/31

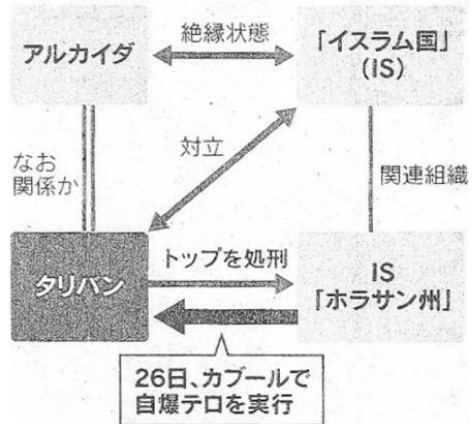
- 08/21・世界で株安「三重の懸念」 米緩和縮小 供給不安 中国規制 <1>
- ・中国、3人目の出産容認 改正法可決 家計支援も具体化へ
 - ・中国、データ持ち出し制限 個人情報保護法成立 外資含め企業規制強化
 - ・東南ア、車部品の減産拡大 半導体や車載電線、感染増で トヨタなど調達厳しく
- 08/22・タリバンとの距離探る 米欧、早期承認後ろ向き 中ロ、影響力確保へ接触 <2>
- ・中国、車データ 10月新規性 自動運転開発に影響も
- 08/25・米下院、390兆円予算決議 インフラ法案、来月採決へ 与党内でも増税懸念
財政膨張、民主内に溝 法案作り、1ヶ月切る
- ・G7、米撤収で隔たり 米「月末」こだわる 欧州、延期求める
- 08/27・世界貿易 4~6月 21%増 経済対策で需要急回復 コロナ再拡大、先行き減速懸念
- ・中国、タリバン支援に意欲 経済再建、欧米と一線 過激派流入、テロ警戒
 - ・韓国、コロナ下の利上げ 不動産高騰抑制を優先
 - ・米、中国対抗法案を先送り 採決は秋以降 議会調整に時間
 - ・自爆テロ (26日)、米兵 13人死亡 アフガン、70人超犠牲か
「イスラム国」が犯行声明 「代償を払わせる」 バイデン氏、報復計画指示 米軍撤収堅持
- 08/28・「緩和縮小、年内に」FRB議長 ジャクソンホール会議 雇用到手応え <3>
デルタ型、なお注視 NY株一時200ドル超上昇
- ・タリバン支配、不透明に 「イスラム国」テロ 抵抗勢力結集 <4>
 - ・米「イスラム国」に報復 アフガンテロ 支配地域を空爆 (27日)
- 08/29・米緩和縮小、世界も転機 FRB議長「年内に」 新興国へ打撃懸念 <5>
「優しいFRB」潜む危うさ 高インフレ過小評価も
- 08/30・米、アフガン首都で空爆 (29日) 空港周辺、テロ計画阻止か
- ・タリバン、外国人出国確約 90ヵ国声明 アフガン退避継続へ
 - ・中国「米は新政権支援を」 アフガン情勢 米中外相が電話協議
 - ・大型ハリケーン、米上陸 メキシコ湾岸 石油施設9割が休止
- 08/31・米軍、アフガン撤収完了 米最長、20年戦争終結 米軍駐留、失われた大義
- ・米感染、ワクチンで明暗 新規入院者数、北東部と南東部で6倍の格差

<1>



<4>

テロの背景にはイスラム過激派の対立



<2>

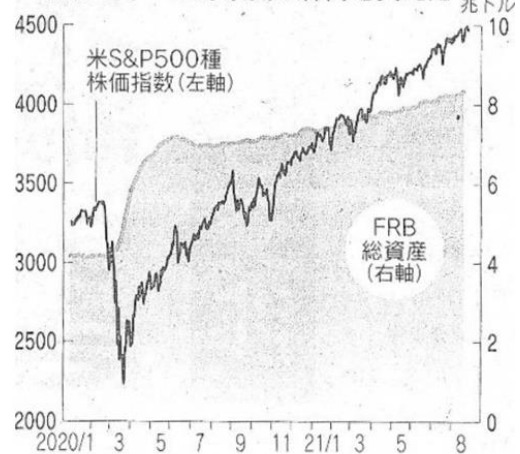
タリバンへの各国の対応には温度差

| | | |
|----------------------|-----|---|
| 否定的 ↑ ↓ 融和的 | カナダ | タリバンを政権として承認する予定はない(トルドー首相) |
| | ドイツ | タリバンとの協議などを通じて、できる限り多くの人を助けていく(メルケル首相) |
| | 英国 | (人権やテロなどに関して)言葉でなく、行動で判断する(ジョンソン首相) |
| | 米国 | 直接接触し、一定の行動に対するコストや我々の期待などを伝えたい(サリバン大統領補佐官) |
| | ロシア | 他の政治勢力を含む政権を作る意向を示したことはよい兆候だ(ラブロフ外相) |
| | 中国 | 真の友人として平和再建を支持し、経済や社会の発展を手伝う(趙立堅副報道局長) |

(出所)各国政府発表や報道をもとに作成

<5>

緩和マネーが好景気と株高を支えた



<3>

パウエル議長講演の要旨

インフレは「さらなる著しい進展」を満たした

雇用の最大化に向けて明確に前進

経済が予想通り広範に改善すれば、資産購入縮小を年内に始めるのが適切

資産購入の終了後もFRBの高水準の債券保有が緩和的な金融環境支える

資産購入の縮小と利上げは直接リンクせず

持続的な雇用の最大化と物価の適度な2%超えまで政策金利は維持